




# 施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

## 1 施策の目的等

施策名	054	計画的な土地利用の推進				
総合計画	基本目標	IV	魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業）		主担当部課名	都市整備部 計画課
	基本施策	01	快適で住みやすいまちづくりの推進			
めざす姿	将来を見据えた計画的なまちづくりが市民との協働により進んでおり、安全で快適な住みよいまちになっています。					
SDGsとの関連	  					

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	42,044,000	32,669,000	26,057,000	15,336,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	6,440,000	5,312,000	4,530,000	0		
市債	0	0	0	0		
その他	2,300,000	2,400,000	2,800,000	0		
一般財源	33,304,000	24,957,000	18,727,000	15,336,000		
予算現額	41,761,000	32,669,000	25,997,000	0		
決算額	39,773,586	28,848,605	24,997,421	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	5,230,000	4,001,000	3,319,000	0		
市債	0	0	0	0		
その他	2,000,000	1,000,000	2,800,000	0		
一般財源	32,543,586	23,847,605	18,878,421	0		
執行率	95.2	88.3	96.2	0.0		
<b>(人件費)</b>						
職員数	6.36	6.25	6.25	0.00		
職員人件費	49,857,863	50,492,656	49,868,694	0		
月額制会計年度任用職員数	1.00	1.00	1.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	3,248,692	3,237,775	3,224,722	0		
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	406,888	455,301	461,946	0		
総コスト	93,287,029	83,034,337	78,552,783	0		

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績	実績の推移				R 7年度 目標値
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 市民提案による地区計画の指定面積（累計）	44	実績	44	44	-	-	157.4
	ha	達成率	28.0	28.0	0.0	0.0	
② 今後も市内に住み続けたいと思う市民の割合	93.4	実績	93.4	95	-	-	93.5
	%	達成率	99.9	101.6	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

## 指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	なし	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	なし	北山町・西原町地区まちづくり協議会及び、新町・栄町地区まちづくり協議会から、これまで検討を重ねてきた地区計画の案が予定通り提出された。今後は令和6年度中の地区計画決定に向け、所定の手続きを進める。計画的な土地利用の推進を図れたため、今後も市内に住み続けたいと思う市民の割合が増加した。	
市民ニーズ	なし		

## 4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	地域まちづくり事業		主担当部課名	都市整備部 計画課			事業種別	主要な事務事業								
次年度における事業の位置づけ							B	1								
指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)									
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)									
① 住民提案型地区計画の累積決定面積	44	計画値	44	44	137	137	137	1	2	3	4	5	6	7	8	
	ha	実績	44	44	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		住民提案型地区計画の検討を、北山町・西原町地区まちづくり協議会及び、新町・栄町地区まちづくり協議会で進めており、令和6年度に決定する予定。														
		計画値						要因の種類(※)								
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																
事務事業名称	市街地整備計画策定事業(立地適正化計画策定事業)		主担当部課名	都市整備部 計画課			事業種別	主要な事務事業								
次年度における事業の位置づけ							B	1								
指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)									
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)									
① ※数値の比較や推移で評価することがなまじないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8	
	-	実績	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																
		計画値						要因の種類(※)								
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																
事務事業名称			主担当部課名				事業種別									
次年度における事業の位置づけ																
指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)									
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)									
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																
		計画値						要因の種類(※)								
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

## 5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	用途地域等の一括変更（素案）を作成し市民に公表した。 2地区のまちづくり協議会が進める地区計画の案の検討の支援を行った。	用途地域等の一括変更について都市計画審議会で案のとおり了承され、決定告示の準備が完了した。 2地区のまちづくり協議会から地区計画の提案を受けた。		
今後の展開	都市計画マスタープランを実現するため、地域の特性に応じたまちづくりを進めていく。	都市計画マスタープランを実現するため、地域の特性に応じたまちづくりを進めていく。 2地区の地区計画については決定までの手続きを進める。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				





## 6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
まちの特性に応じた市民主体によるまちづくりルールの策定や、まちづくりに関する意見交換会・オープンハウス等のイベントに関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着したい事業等)	今年度の方針	
北山町・西原町地区及び新町・栄町地区において、地区計画の案を市民とともに作成する。用途地域一括変更の変更案を市民への周知するため、オープンハウスを行う。	北山町・西原町地区及び新町・栄町地区において、まちづくり協議会がとりまとめた地区計画の案の提案を受けとる。用途地域一括変更の変更案を市民への周知するため、説明会を行うほか、案の縦覧及び意見書の募集を行う。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
地区計画の案の提案を受け取ることができた。市民が主体となるまちづくりの検討内容が、今後の手続きを経て地区計画に反映される予定。用途地域一括変更の変更案について、説明会等を通じて周知できた。	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	住民から提案を受けた地区計画の案を実現するため、都市計画決定に向けた手続きを行う予定。既に決定された地区計画について、必要に応じて見直しを行う予定。

# 施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

## 1 施策の目的等

施策名	055	適正な開発事業の誘導				
総合計画	基本目標	IV	魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業）		主担当部課名	都市整備部 計画課
	基本施策	01	快適で住みやすいまちづくりの推進			
めざす姿	市民・事業者・市の協働により、府中市地域まちづくり条例及び土地利用方針等に基づく適正な土地利用及び周辺環境に配慮した良好な開発事業が進められ、地域特性をいかした住みよいまちづくりが行われています。					
SDGsとの関連	   					

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	1,435,000	1,460,000	1,529,000	1,415,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	54,000	67,000	68,000	70,000		
市債	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0		
一般財源	1,381,000	1,393,000	1,461,000	1,345,000		
予算現額	1,828,000	1,460,000	1,529,000	0		
決算額	1,480,052	730,557	1,100,228	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	58,000	62,000	51,000	0		
市債	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0		
一般財源	1,422,052	668,557	1,049,228	0		
執行率	81.0	50.0	72.0	0.0		
<b>(人件費)</b>						
職員数	3.69	3.25	3.25	0.00		
職員人件費	28,917,560	26,256,181	25,931,721	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0		
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	203,943	204,100	207,074	0		
総コスト	30,601,555	27,190,838	27,239,023	0		

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値	
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		
① 開発事業と併せて地区計画等を決定した累計件数	19 件	実績	22	22	-	-	24
		達成率	91.7	91.7	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

## 指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	なし	評価	外部要因以外の影響で遅れが生じた
国・都の政策	なし	まとまった面積の開発事業が少なく、協議できる件数も少なかったため、景観協定の締結には至らなかった。	
市民ニーズ	なし		

## 4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	開発誘導事業		主担当部課名	都市整備部 計画課				事業種別	主要な事務事業										
次年度における事業の位置づけ									B				1						
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
大規模土地取引行為及び土地 ① 土地利用構想における助言又は 指導件数	3	計画値	3	3	3	3	3	3	3	1 2 3 4 5 6 7 8									
	件	実績	4	8	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		届出件数の増加による。																	
		計画値								要因の種類(※)									
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																			
事務事業名称			主担当部課名					事業種別											
次年度における事業の位置づけ																			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
		計画値								1 2 3 4 5 6 7 8									
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																			
		計画値								要因の種類(※)									
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																			
事務事業名称			主担当部課名					事業種別											
次年度における事業の位置づけ																			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
		計画値								1 2 3 4 5 6 7 8									
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																			
		計画値								要因の種類(※)									
		実績								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																			

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

## 5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	(外部要因の影響などもあり)計画をやや下回る成果であった		
今年度の主な取組と成果	開発事業者と協議を行い、1件の景観協定を認可した。	まとまった面積の開発事業が少なく、協議できる件数も少なかった。(景観協定協議1件)		
今後の展開	開発事業において良好なまち並みが形成されるよう協議するとともに、地区計画等の活用について協議を行う。	開発事業において良好なまち並みが形成されるよう協議するとともに、地区計画等の活用について協議を行う。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				


## 6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
地域まちづくり条例や開発事業に関する指導要綱、開発事業まちづくり配慮指針等の理解・普及に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
地域まちづくり条例や土地利用方針等に基づく適正な土地利用及び周辺環境に配慮した良好な開発事業を進める。	引き続き、土地利用方針に基づいた良好な開発事業となるよう協議・指導を行う。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
地域まちづくり条例に基づく協議を行った。	協働で実施したが、市民への還元効果については不明確である	引き続き、土地利用方針に基づいた良好な開発事業となるよう協議・指導を行う。

# 施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

## 1 施策の目的等

施策名	056	質の高い建築物の確保	
総合計画	基本目標	IV	魅力あふれる uringoと活力のあるまち（都市基盤・産業）
	基本施策	01	快適で住みやすいまちづくりの推進
めざす姿	良好な建築行為の確保及び建築物の維持管理により、災害に強い誰もが安全で快適に暮らせるまちが形成され、かつ、建築物の長寿命化や省エネルギー化、低炭素化がなされ、環境に配慮したまちが形成されています。		
SDGsとの関連			

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	9,199,000	19,775,000	20,231,000	11,674,000		
国庫支出金	0	5,049,000	6,003,000	1,427,000		
都支出金	2,018,000	4,280,000	2,518,000	2,065,000		
市債	0	0	0	0		
その他	7,181,000	6,034,000	9,863,000	7,351,000		
一般財源	0	4,412,000	1,847,000	831,000		
予算現額	9,199,000	19,791,000	20,231,000	0		
決算額	7,505,246	14,899,225	15,562,798	0		
国庫支出金	0	2,678,000	3,835,000	0		
都支出金	1,165,063	2,899,265	685,386	0		
市債	0	0	0	0		
その他	6,340,183	7,638,467	10,034,584	0		
一般財源	0	1,683,493	1,007,828	0		
執行率	81.6	75.3	76.9	0.0		
<b>(人件費)</b>						
職員数	11.90	11.57	12.30	0.00		
職員人件費	93,234,203	93,463,029	98,141,589	0		
月額制会計年度任用職員数	2.33	2.00	3.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	7,569,452	6,475,550	9,674,166	0		
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	2,054,360	1,997,986	2,030,567	0		
総コスト	110,363,262	116,835,790	125,409,120	0		

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R7年度 目標値
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
① 検査済証交付率	99.4	98.16	-	-	-	100
	%	達成率	98.2	0.0	0.0	
② 定期調査報告に係る特定建築物の報告率	85.1	83.46	83.76	-	-	100
	%	達成率	83.5	83.8	0.0	
③ 長期優良住宅認定率	21.8	25.26	24.51	-	-	35
	%	達成率	72.2	70.0	0.0	
		実績				
		達成率				

## 指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	環境に配慮した、災害に強い誰もが安全で快適に暮らせるまちづくりが求められている。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	国土交通省は2050年カーボンニュートラルに向け、住宅・建築物の省エネルギー対策と建築基準のあり方を大幅に見直している。	概ね目標を達成した。	
市民ニーズ	税制優遇などが受けられるほか、不動産として付加価値が付くことで、住み替えなどの際に有利になる。		

## 4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	特定行政庁所管業事業		主担当部課名	都市整備部 建築指導課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)		事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 違反建築物取締り件数	3	計画値	3	3	3	3	3	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	16	7	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		既存建築物における用途違反があるため、違反建築の抑制を図ることができなかった。														
② 定期調査報告に係る防火設備の報告率	69.6	計画値	72	74	76	78	78	要因の種類(※)								
	%	実績	71.15	74.9	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		該当する建築物所有者に通知をしているため、計画とおりに実施することができた。														
事務事業名称	建築指導等事務		主担当部課名	都市整備部 建築指導課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)		事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 低炭素建築物新築等計画認定件数	20	計画値	30	35	40	45	45	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	48	11	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		低炭素建築物の申請の減少により実績値が減少してしまった。														
② 省エネルギー計画届出件数	40	計画値	42	44	46	48	48	要因の種類(※)								
	件	実績	37	52	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		HP等で啓発活動に努めたため、概ね計画とおりに推進している。														
事務事業名称	マンション適正管理促進事業		主担当部課名	都市整備部 住宅課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									A							
指標名	基準値 (単位)		事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 分譲マンション管理無料相談会での相談累計件数	8	計画値	24	40	56	72	72	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	26	40	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		相談会の開催案内を市内全マンションに郵送するなど周知に努めることで、概ね計画通りの相談件数で推移している。														
		計画値						要因の種類(※)								
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容																

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他



## 5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	▽建築物の長寿命化、省エネルギー化及び低炭素化に係る建築物の認定制度については、ホームページなどを活用し普及啓発を図ることができた。 ・改正マンション管理適正化法に基づき、管理計画認定制度を開始した。	▽建築物の長寿命化、省エネルギー化及び低炭素化に係る建築物の認定制度については、ホームページなどを活用し普及啓発を図ることができた。 ・マンション実態調査を実施し管理状況を把握したほか、管理計画認定制度や相談会等によりマンション適正管理を促進した。		
今後の展開	▽今後の法改正が進み、更に長寿命化、省エネルギー化の需要が高まるので、安全・安心で質の高い建築物の確保に努める。 ・マンションの管理状況等を把握するため実態調査を実施する。	▽今後の法改正が進み、更に長寿命化、省エネルギー化の需要が高まるので、安全・安心で質の高い建築物の確保に努める。 ・引き続き、管理計画認定制度等の周知・啓発のほか、管理状況に応じた支援の実施等により、マンションの適正管理を促進する。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				



## 6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
長寿命化や省エネルギー化による快適で質の高い、環境に配慮した建築物の計画に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
長寿命化や省エネルギー化による快適で質の高い、環境に配慮した建築物は具体的には、長期優良住宅や低炭素建築物、建築物省エネ法に定める基準に適合した建築物である。そのため自宅を新築する際などに長期優良住宅などの制度活用してもらえよう、市民に周知する。	協働により推進していくため、長期優良住宅、低炭素建築物、建築物省エネ法に定める基準に適合した建築物の制度について、HPの掲載や窓口におけるパンフレットの配布などでお知らせし、制度を活用してもらえよう、市民の周知に努める。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
今年度の取組実績として、長期優良住宅、低炭素建築物、建築物省エネ法に定める基準に適合した建築物の制度について、HPの掲載や窓口におけるパンフレットの配布などでお知らせし、制度を活用してもらえよう、市民の周知に努める。	協働による実施を検討した	今年度と同様に長期優良住宅、低炭素建築物、建築物省エネ法に定める基準に適合した建築物の制度について、HPの掲載や窓口におけるパンフレットの配布などでお知らせし、制度を活用してもらえよう、市民の周知を継続して進めていく。

# 施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

## 1 施策の目的等

施策名	057	魅力ある景観の保全・形成				
総合計画	基本目標	IV	魅力あふれる uringoと活力のあるまち（都市基盤・産業）		主担当部課名	都市整備部 計画課
	基本施策	01	快適で住みやすいまちづくりの推進			
めざす姿	景観啓発活動や景観賞の実施により、市民の景観に対する理解が深まり、市民・事業者・市の協働によって地域特性をいかした優れた景観が形成・保全されています。					
SDGsとの関連	 					

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	4,755,000	12,926,000	10,276,000	178,636,000		
国庫支出金	2,348,000	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	1,907,000	10,400,000	3,615,000	161,500,000		
一般財源	507,000	2,526,000	6,661,000	17,136,000		
予算現額	4,755,000	12,926,000	10,276,000	0		
決算額	4,433,930	10,776,700	7,195,364	0		
国庫支出金	2,189,000	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	1,000,000	7,950,000	2,600,000	0		
一般財源	1,244,930	2,826,700	4,595,364	0		
執行率	93.2	83.4	70.0	0.0		
<b>(人件費)</b>						
職員数	1.40	1.75	1.75	0.00		
職員人件費	10,968,730	14,137,944	13,963,234	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0		
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	77,358	109,900	111,501	0		
総コスト	15,480,018	25,024,544	21,270,099	0		

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移	実績の推移				R 7年度 目標値
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 開発事業等における景観協定累計面積	26.5	実績	27.1	27.1	-	-	28
	ha	達成率	96.8	96.8	0.0	0.0	
② まちなみや景観がよく保全されていると感じている市民の割合	47.3	実績	63.5	65.8	-	-	60
	%	達成率	105.8	109.7	0.0	0.0	
③ 景観やユニバーサルデザインに配慮した公共サインの整備地区数	1	実績	1	1	-	-	14
	地区	達成率	7.1	7.1	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					

## 指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	なし	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	なし	景観協定については、まとまった面積での開発事業が少なく協議もほとんど行うことができなかったが、公共サインについては、市内全域における整備へ向け、1期エリアの実施設計及び2期エリアの配置計画の作成を行い、目標達成に向け進捗した。	
市民ニーズ	なし		

## 4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	開発事業における景観形成誘導事業		主担当部課名	都市整備部 計画課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 開発事業における景観協定締結協議件数	3	計画値	3	3	3	3	3	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	1	0	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		まとまった面積の開発事業が少なく、協議する件数も少なかった。														
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								
事務事業名称	景観政策推進事業		主担当部課名	都市整備部 計画課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 景観啓発に関するイベント等の開催回数	1	計画値	1	1	1	1	1	1	2	3	4	5	6	7	8	
	回	実績	1	0	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		令和5年度は次年度から行う新たな景観啓発の施策検討を行った。														
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								
事務事業名称	公共サイン整備事業		主担当部課名	都市整備部 計画課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① ※数値の比較や推移で評価することがなまじまないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
	-	実績	-	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

## 5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	1 地区の景観協定について認可を行った。また、公共サインについては、整備計画と第1期エリアの配置計画を作成した。	公共サインについては、第1期エリアの実施設計と第2期エリアの配置計画を作成した。		
今後の展開	開発事業に併せて景観協定について協議するとともに公共サインの整備に向けた実施設計及び配置計画の作成を行う。	開発事業に併せて景観協定について協議するとともに、公共サイン整備の実施設計及び配置計画の作成、設置工事を行う。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				




## 6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
魅力的な景観づくりに向けた意識啓発や、良好な景観の形成・保全に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
近年、市民の景観に対する意識が低くなっている中で、意識啓発を行い、魅力的な景観づくりに取り組む。	景観啓発に関する取組について検討を行い、令和6年度以降実施していく。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
令和6年度以降で実施する景観啓発に関する取組について検討を行い、予算をとるなど準備を進めた。	協働による実施を検討した	検討した取組について実施する。

# 施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

## 1 施策の目的等

施策名	058	公共交通の利便性の向上				
総合計画	基本目標	IV	魅力あふれる ーうおいと活力のあるまち（都市基盤・産業）		主担当部課名	都市整備部 計画課
	基本施策	01	快適で住みやすいまちづくりの推進			
めざす姿	鉄道やバス、タクシーなどの公共交通ネットワークが形成されるとともに、バリアフリー化や情報化が進むことにより、誰もが公共交通を快適に利用することができる環境が整っています。					
SDGsとの関連	  					

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	237,030,000	278,470,000	233,713,000	277,971,000		
国庫支出金	4,856,000	0	0	0		
都支出金	616,000	38,666,000	2,838,000	4,262,000		
市債	0	0	0	0		
その他	8,700,000	40,100,000	39,400,000	75,800,000		
一般財源	222,858,000	199,704,000	191,475,000	197,909,000		
予算現額	220,926,000	276,744,000	205,879,000	0		
決算額	198,963,298	272,187,000	195,295,318	0		
国庫支出金	0	13,940,000	0	0		
都支出金	596,000	41,201,000	2,838,000	0		
市債	0	0	0	0		
その他	11,000,000	40,000,000	4,100,000	0		
一般財源	187,367,298	177,046,000	188,357,318	0		
執行率	90.1	98.4	94.9	0.0		
<b>(人件費)</b>						
職員数	2.55	2.50	2.50	0.00		
職員人件費	19,943,145	20,197,063	19,947,478	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0		
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	140,651	157,000	159,286	0		
総コスト	219,047,094	292,541,063	215,402,082	0		

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① コミュニティバスの年間利用者数	1,466,769	実績	1,943,039	2,041,791	-	1,781,000
	人	達成率	109.1	114.6	0.0	
② 鉄道駅におけるホームドアの設置数	-	実績	2	2	-	6
	列	達成率	33.3	33.3	0.0	
③ 公共交通機関が利用しやすいと感じている市民の割合	66.7	実績	70.7	76.5	-	70
	%	達成率	101.0	109.3	0.0	
		実績				
		達成率				

## 指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変更。世界的な半導体不足による機器製作への影響。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	なし	指標1：新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、利用者数の目標値を設定していたが、一定水準まで回復し、目標値を達成している。 指標2：世界的な半導体不足により、ホームドア機器の製作に遅れが生じ、鉄道事業者によるJR南武線西府駅ホームドア整備事業の期間が延長されたが、目標に向かっては順調に進ちよくしている。 指標3：目標値を達成している。	
市民ニーズ	なし		

## 4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	コミュニティバス運行補助事業		主担当部課名	都市整備部 計画課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① コミュニティバス運行事業補助金(運行業務費分)の累積交付件数	1	計画値	1	2	3	4	4	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	1	2	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		コミュニティバス運行事業(運行業務費分)1件の補助金を交付した。													
② コミュニティバス運行事業補助金(停留所等整備費分)の累積交付件数	1	計画値	1	2	3	4	4	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	1	2	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		コミュニティバス運行事業(停留所等整備費分)1件の補助金を交付した。													
事務事業名称	鉄道駅整備事業		主担当部課名	都市整備部 計画課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 鉄道駅整備事業補助金の累積交付件数	1	計画値	1	2	3	3	3	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	1	1	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		東日本旅客鉄道株式会社が実施するJR南武線西府駅ホームドア整備事業が半導体不足による機器製作の遅延に伴い延期となった。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称	地域公共交通計画推進事業		主担当部課名	都市整備部 計画課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 府中市地域公共交通ネットワーク再編計画の累積策定件数	-	計画値	-	-	-	1	1	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	-	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		令和7年度の再編計画策定に向けて地域公共交通協議会に諮問し、策定作業を開始した。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

## 5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域公共交通計画の策定作業を進め、府中市地域公共交通協議会から計画案の答申を受けた。</li> <li>○コミュニティバス運行事業に対し、補助を行った。</li> <li>○JR南武線府中本町駅の2面2線にホームドアを整備する事業に対して、その費用の一部に補助金を交付した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域公共交通計画を策定し、地域公共交通ネットワークの再編等に取り組んだ。</li> <li>○コミュニティバス運行事業に対し補助を行った。</li> <li>○JR南武線西府駅ホームドア整備事業が半導体不足の影響で延期となった。</li> </ul>		
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域公共交通計画については答申を踏まえて令和5年夏頃の策定を目指す。</li> <li>○引き続き、コミュニティバス運行事業に対し、補助を行う。</li> <li>○鉄道事業者が実施するホームドア整備等に対し、補助を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域公共交通ネットワークの再編に向けて検討を進めるほか、地域公共交通計画に基づく各種事業を推進する。</li> <li>○引き続き、コミュニティバス運行事業に対し補助を行う。</li> <li>○鉄道事業者が実施するホームドア整備等に対し補助を行う。</li> </ul>		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

## 6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
持続可能な公共交通ネットワークの形成に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
令和5年度に策定した府中市地域公共交通計画に基づき、交通施策における市民・企業・団体等との協働を推進する。	協働により本市の地域公共交通の課題解決に資する取組を推進する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
価値共創促進事業において、民間事業者の提案を受け、協働でコミュニティバスデジタル化促進事業を実施し、利用者の年齢層やデジタル化に向けた課題等を把握した。	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた。	引き続き、価値共創促進事業を活用してコミュニティバスのデジタル化を検討する。